NEWS RELEASE

2023年6月13日

各　位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ
三井住友カード株式会社
カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
CCCMKホールディングス株式会社

SMBCグループとCCCグループ 新たなポイントサービス、青と黄色の『Vポイント』を来春より提供開始

～どんな経済圏にも縛られない　みんなが使えるポイント、できた～

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：太田 純、以下「SMFG」、同社グループを総称して「SMBC グループ」）、三井住友カード株式会社（代表取締役社長：大西 幸彦、以下「SMCC」）、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社（代表取締役社長兼 COO：髙橋 誉則、以下「CCC」、同社グループを総称して「CCC グループ」）、CCCMK ホールディングス株式会社（代表取締役社長兼 CEO：髙橋 誉則、以下「CCCMKHD」）は、SMBC グループが提供する「V ポイント」と CCC グループが提供する「T ポイント」を統合し、新たな『V ポイント』として、2024 年春を目途に提供開始することといたしました。

1. 新ポイントの名称・ロゴ

新ポイント『V ポイント』は、サービス開始から今年で 20 年を迎える、日本で最初の共通ポイントとして約1.3 億（有効 ID 数）のお客さまにご利用いただいている T ポイントと、SMBC グループが提供し、世界中の Visa 加盟店で使える V ポイントが一緒になることで生まれる、新しい共通ポイントです。より多くのお客さまがポイントを意識せずともよく貯まり、使いやすく自由で安心で特定の経済圏に縛られない、「みんなが使えるポイント」を目指していく想いを込めております。多くのお客さまに支持されてきた T ポイントの青と黄のカラーはそのままに、世界中の Visa で使える V ポイントを融合した新ポイントの世界を表現しております。

青と黄色の V ポイント 特設サイト：https://web.tsite.jp/vpoint/

いいキャッシュレスが、いい毎日を作る。
Have a good Cashless.

2.『V ポイント』の特徴

『V ポイント』は、これまでよりも多くの生活シーンで貯めて・使える、特定の経済圏に縛られないポイントとして、2024 年春よりサービスを開始する予定です。新たにご利用されるお客さまにとってはもちろん、既存の T ポイント・V ポイントをご利用のお客さまにとっても、これまでと同様のご利用方法に加えて、さらに便利にご利用いただけるポイントサービスとなります。さらに、お客さまにとって魅力的なポイントへ進化させるとともに、T ポイント提携先への送客強化にもつなげてまいります。

＜利用者にとって＞

■貯まりやすい

『V ポイント』は、現在全国約 15 万店ある T ポイント提携先で T カード／モバイル T カードを提示すると、現金による決済でも貯めることができます。さらに、世界の 1 億店以上の Visa 加盟店を含めたクレジットカード加盟店における、SMCC が発行するクレジットカード※1 や Olive フレキシブルペイなどのご利用に加え、SMBC グループの「三井住友銀行」「SMBC 日興証券」「SMBC コンシューマーファイナンス」や、「SBI 証券」などのご利用※2 などでも貯まります。

※1：V ポイントが付与されるカードが対象となります。V ポイント付与対象のカードは、本ページよりご確認ください。
おすすめ・人気のクレジットカード一覧 | 三井住友 VISA カード (smbc-card.com)

※2：利用条件がありますので、それぞれ条件をご確認ください。

■使いやすい

『V ポイント』は、T ポイント提携先に加え、Visa 加盟店、さらに「三井住友銀行」や「SBI 証券」などの各種金融サービスでもご利用いただけます。お支払いには『V ポイント』1 ポイント＝ 1 円分としてご利用いただけます。

■スマートフォンひとつで

今後、既存の V ポイントアプリと同様、貯まったポイントを世界の Visa 加盟店でのお支払いにご利用できる決済機能を、T ポイントアプリにも搭載することを予定しています。これにより、ひとつのアプリで、あらゆる場所でポイントを貯めて使えて支払いも完了できる、利便性の高いサービスが実現いたします。また、Visa トランジットではバスや電車に乗る際のお支払いにもご利用いただけます。

＜提携先にとって＞

■ポイント価値の向上

『V ポイント』は、ご利用のお客さまのみならず、提携先にとっても魅力的なポイントとなります。従来の T カード／モバイル T カードの提示だけでなく、SMBC グループの各種サービスのご利用や、SMCC が発行するクレジットカードによる決済で貯めたポイントからのご利用も期待できます。また、ポイントが貯まりやすくなることで顧客価値がさらに向上し、提携先へのポイント利用や送客効果の向上にもつながります。

＜目指す姿＞

SMCC の決済サービスや、SMBC グループの総合金融サービス「Olive」などを通じて、これまでよりも「貯めやすく」「使いやすく」なった『V ポイント』が、あらゆる金融・非金融サービスをつないでいきます。『V ポイント』提携先で貯めたポイントは提携先のみならず、SMBC グループや、SMCC が提携する各分野のリーディングカンパニーによるデジタル金融サービスでもご利用いただけます。『V ポイント』で、SMBC グループの枠を超え、お客さまはあらゆる非金融サービスをお得にご利用いただけるようになります。

なお、CCC グループは、T カードがあらゆる場所で使える「パスポート」のような存在となることを目指し、2003 年に共通ポイントサービス「T ポイント」を開始いたしました。今年で 20 年の T ポイントは、いまでは約

200 社の企業さまがアライアンスパートナーとなり、年間利用者 7000 万人のお客さまにご利用いただくポイントへと成長いたしました。『V ポイント』では決済と一体となり、スマートフォン一つで日本でも世界でもご利用いただけるサービスを提供いたします。そして、リアルの世界もネットの世界もすべてをつなぎ、新しいライフスタイルをさまざまなお客さまへ提案してくれる存在として進化させていきます。世界の 200 以上の国と地域で貯めて、使える日本最大規模の共通ポイントサービス『V ポイント』が、まさしく世界で使える「パスポート」のように、自由でワクワクする”みんなのためのポイント”となることを目指してまいります。

＜利用者・提携先にとって＞

■マーケティング支援

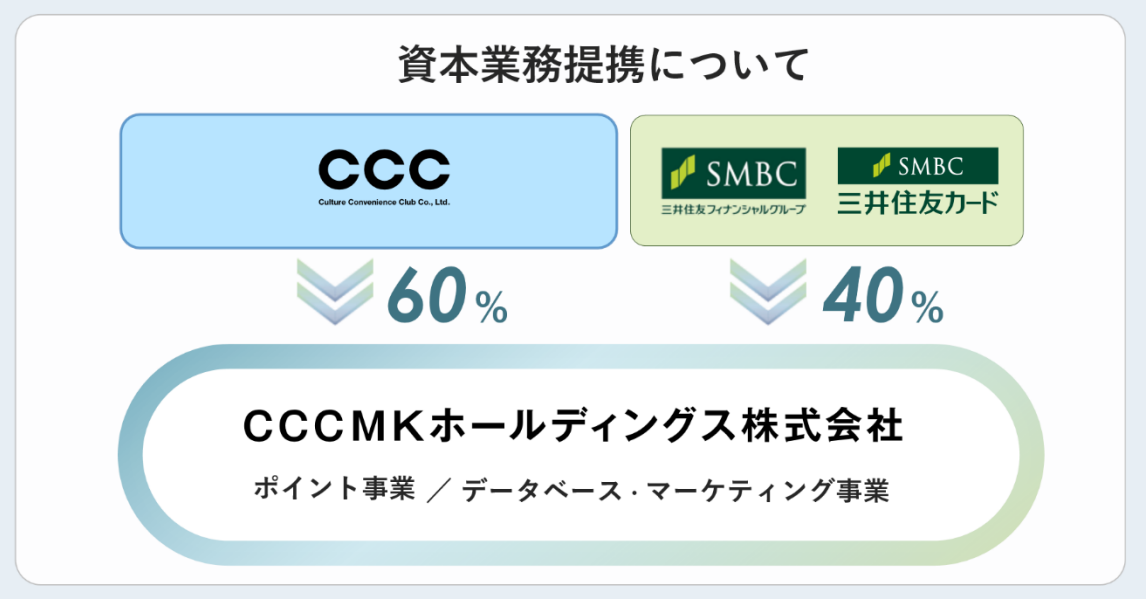
これまで、SMCC はキャッシュレスデータ分析サービス「Custella」により、クレジットカード加盟店さまへマーケティング支援を実施しており、CCCMKHD は T ポイント提携先へデータベースを活用したマーケティングサービスを提供しております。今般 SMCC と CCCMKHD はマーケティング分野においても協業し、より一層の事業者のマーケティング支援を実施することで、利用者・事業者双方のお客さまに、これまでよりも高い付加価値の提供を目指してまいります。

＜お客さまの個人情報・プライバシーの保護について＞

新ポイントサービスの提供に際しては、お客さまから合理的かつ適切な方法でご同意をいただいたうえで、これまで以上にお客さまの個人情報の保護、プライバシーの保護を最重要なものとして位置付け、お客さまから信頼をいただけるよう取り組んでまいります。

3. 資本業務提携について

新ポイントサービスの提供に向け、SMFG と SMCC は、2023 年 4 月 10 日に CCCMKHD への出資を完了しました。なお本件は、2022 年 10 月に発表いたしました「SMBC グループと CCC グループによる資本・業務提携に関する基本合意」に基づくものです。これにより、CCCMKHD は発行済み株式の 60%を CCC、40%を SMBC グループが保有する会社となります。



今後も、SMBC グループと CCC グループは 24 年春を予定する『V ポイント』のサービス開始に向けて、現在の「T ポイント」と「V ポイント」の利用者と提携先に更なる利便性と安心をお届けできるよう、各種ポイントサービスの機能強化に加え、外部企業や非金融サービスとの連携などを協同で検討・実施してまいります。

以　上